

4-12

演題	繰り返す臀部の皮剥けに対するアプローチ
副題	

法人名	社会福祉法人 若竹大寿会
施設名	わかたけ青葉

発表者名 (職種)	高木 美穂 介護職員
共同発表者	末高 真吾
共同発表者	
共同発表者	
共同発表者	

都道府県	神奈川県
住所	横浜市青葉区奈良 4-6-1
TEL	045-960-0651
FAX	045-960-0653
メールアドレス	nakamura_akira@wakatake.or.jp
URL	

今回の発表施設 またはサービスの 概要	横浜市青葉区に 2006 年に開所した特別養護老人ホーム。全室個室のユニット型施設で、“おひとりおひとりのペースを大切にす生活の実現”を信念に、自分らしい生活ができるよう、優しく質の高いケアを目指している。
---------------------------	---

研究の目的、PR ポイント

繰り返して起きている臀部の皮剥けに対して褥瘡対策委員会内で対策を検討した。他職種共同により、複数の手段を用いてアプローチを行った。その結果を報告する。

取り組んだ課題

繰り返して発生する皮剥けなどの炎症に対し、褥瘡の危険因子である、除圧、皮膚状況の改善、蒸れの防止を目指し、エアーマットやパワークッション、ココナッツオイル、排泄用品の検討といった手段を用いて状況の改善にアプローチをした。

具体的な取り組み

対象者 2 名にそれぞれ 1 日 2 回排泄介助の後にココナッツオイルをスプーン 1 杯程度の量を臀部に塗布した。期間は 2 か月ほどで、ココナッツオイル塗布のほかに、身体の状態に合わせて除圧の目的でエアーマットやパワークッションの使用、蒸れ防止の目的で吸水性に特化したオムツ、パットの使用を行った。

活動の成果と評価

開始から 1 か月弱の結果として、対象者の 1 名は肌の色調が良くなり、艶と張りの向上が見られた。もう 1 名も、同様の結果が確認できたが、元々色素沈着があり、効果の実感が前者と比べてわかりづらかった。また、掻きむしりがあり、そちらへの対策として、蒸れ防止対策を行うことにした。蒸れ対策としては、着用している排泄用品のメーカー変更をし、通気性の良いものを採用した。

※肌の状態は、施設職員の目視、触感で判断したもので、科学的な検査は実施していない。

ココナッツオイルは、アズノールのようなサラサラしてしまい皮膚に長時間残らない薬と違い、皮膚表面をコーティングするため、乾燥予防と便などの拭き取りの補助的効果が認められた。

成果としては、複数の手段を用いることで、除圧、皮膚の改善、蒸れ防止の一定の効果を確認することができ、皮膚状況の改善が見られた。現在も状態を維持できている。

今後の課題

成果に個人差があると思われる為、その差がどこにあるのか引き続き考えていきたい。

各道具の使用を継続し、皮剥けに対するアプローチの確立を目指して施設内で共有し、様々な取り組みを行っていきたいと思う。

また、今回は“皮剥け”に特化した内容だが、一つの問題に対して改善を図るためには、このように複数の手段を組み合わせることが大切であると考えている。